

Monthly Repo. ならやま

4月23日(木) 活動 晴れ 65名+3名

経団連の助成金事業で行うカシナガ被害木の伐採を基本にした部分伐採予定地区について、ならやま活動に参加している多くの会員に理解を深めてもらうために皆で実地検分を行った。

近畿大学の北川先生がたなご池でバラタナゴの観察を担当する学生2名を連れて来られた。

第5番目のテント倉庫が完成、設置に汗を流されたメンバーに感謝。

里山Gは、新年度の活動方向についてミーティング、5月のイベントの工作材料の準備とコナラ枯死木の伐採。エコファームGは、ナスの植え付け準備、畝面の黒色フィルムのマルチも手馴れたものでスイスイ。

景観Gは、ヒマワリの播種に向け、第5地区、佐保自然の森の栽培予定地の草刈り。花では開花が終わったナノハナを処分し、夏花の植え付けの準備に忙しい。

4月30日(木) 活動 晴れ 67名+4名

県の景観環境局の係長と主査が経団連助成事業の実施予定地を視察。県の森林技術センターの技術者が皆伐試験地を調査され、さらに本年度のカシナガトラップ試験予定について概況の説明。

里山Gは、天平祭に使う竹工作の材料作りの最終調整日となった、また別働隊はタケノコ平近辺の倒木処理。エコファームGは、ナス・シシトウ等の夏野菜の畝作りに忙しい。エンドウが丈高く成長してきたので蔓の誘引作業も欠



かせない。美味しいイチゴの収穫が少々。



景観Gは、第5地区のヒマワリ畑に堆肥まき、ベースキャンプ周辺の除草。ならやま池では水生生物調査を行うが種類、個体数とも少ない。花はキショウブ花壇・ジャーマンアイリス花壇の除草。

5月7日(木) 活動 晴れ 61名

暑くなってきたのでベースキャンプは緑陰広場へ移動。ならやまプロジェクト担当幹事が交代。

カシナガ被害木が伐採されて日当たりがよくなった里山林内ではピンク色のモチツツジが満開。



池田さんの好意により冷たい味噌汁が提供され、暑さも忘れる昼時であった。数日前にマムシが見つかったとの情報あり、要注意!

里山林のカシナガ枯死木の伐採は3チームに分かれ、効率的に実施された。夏野菜(ナス・シシトウ・ブロッコリー・カリフラワー・トマト・オクラ等)の植え付けが一斉に行われた。エンドウ類も一気に大きくなり、収穫量にも満足。

第5地区、佐保自然の森でヒマワリの播種が完了、夏には黄色の大きな花が見られることだろう。ムラサキハナナを処分し、夏の花の代表選手のマリーゴールドを播種。

5月14日(木) 活動 晴れ後小雨 62名+2名

シニア自然大学校からの実習生2名が参加。

里山Gは、JR横の里山林でコナラ・マツの枯死木を伐採。エコファームGは、サツマイモを定植、2時過ぎから天からの贈り物が届き、うまく根づくことだろう。

景観Gは、BC周辺、彩の森の草刈りを完了。ならやま池では水生生物調査、東池ではギャングのウシガエルを釣り上げようとしたが失敗に終わった。緑陰広場横のアジサイの除草、来週には開花が見られるだろうとのこと。

(木村 裕)